

# 2014年度

## 環境活動レポート

Rev. 1

対象期間： 2014年5月21日～2015年5月20日

発行日： 2015年10月8日

改訂： 2016年2月25日

**マロール株式会社**

653-0037 兵庫県 神戸市長田区大橋町 2丁目1番34号



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0000716

# 目次

目次	1
組織概要	3
I. 事業所名、及び代表者名	3
II. 所在地	3
III. 環境管理責任者及び担当者連絡先	3
IV. 事業の内容	3
V. 事業の規模	3
対象範囲《認証・登録範囲》	4
I. 認証・登録番号 0000716	4
II. 認証・登録事業者	4
III. 対象事業活動	4
IV. 対象事業所	4
V. 対象従業員	4
VI. 対象サイトの概略	4
VII. 環境活動レポート	4
環境方針	5
環境目標	6
環境活動計画	7
環境目標の実績、環境活動計画の取組結果と その評価、次年度取組内容	8
I. 二酸化炭素排出量削減	8
製品生産量	8
取組結果とその評価	8
次年度取組内容	8
II. 廃棄物排出量の削減	9
取組結果とその評価	9
次年度取組内容	9
III. 上水使用量の削減	9
取組結果とその評価	9
次年度取組内容	9
IV. コピー用紙使用量の削減	10
取組結果とその評価	10
次年度取組内容	10
V. 化学物質の管理100%達成	10
取組結果とその評価	10

次年度取組内容	10
VI. RoHS規制対応資材の購入100%達成	11
取組結果とその評価	11
次年度取組内容	11
VII. 環境配慮製品の拡販	11
取組	11
結果	11
次年度の取組内容	11
環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	12
I. 適用される主な環境関連法規制等	12
II. 法令違反、訴訟等の有無	12
2014年度取組	13
I. クリーンデイ活動の実施	13
II. 花壇の改修	13
III. 業務処理システムの変更による紙の使用量削減	13
代表者による全体評価と見直しの結果	14
I. 全体評価	14
II. 見直しの結果	14

# 組織概要

## I. 事業所名、及び代表者名

マロール株式会社 代表取締役社長 兎田 朗彦

## II. 所在地

本社・工場	〒653-0037	神戸市長田区大橋町2丁目1-34	従業員数 71名
東京営業所	〒101-0023	東京都千代田区神田松永町7番地3 ヤマリビル402	従業員数 2名
福岡営業所	〒815-0073	福岡市南区大池1丁目23-15 高崎ビル7号	従業員数 5名
札幌事務所	〒003-0834	札幌市白石区北郷四条2丁目9-15 第8北海マンション502	従業員数 1名
			合計 79名
			2015年5月時

## III. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役社長 兎田 朗彦  
連絡担当者 業務部総務課 大西 正  
連絡先 電話：078-611-2158 Fax：078-641-5856

## IV. 事業の内容

産業分類：一般機械器具製造業

船舶関係の油圧及び電気・電子油圧式制御システム・機器の設計、製造、販売、サービス  
下記自社開発製品を製造・販売。

### 大型船舶向け

甲板機械（デッキクレーン、カーゴクレーン、ウインドラス、ムアリングウィンチ、トーイング  
ウィンチ等）の油圧及び電気・油圧式遠隔制御装置、バルブ開閉制御装置、他。

### 小型船舶向け

手動油圧操舵システム、アシスト式操舵システム、電気・油圧式動力操舵システム、オートパイ  
ロットシステム、エンジンリモコンシステム、姿勢制御システム、サイドスラスター制御システ  
ム、ウォータージェットコントロールシステム、エンジン制御盤、方位ディスプレイ、他。

その他開発依頼製品の設計・製作

## V. 事業の規模

売上高 : 1,214百万円 (2015年5月期)  
主要製品出荷量 : 157.2トン  
従業員数 : 79名 (パート、アルバイト、契約社員を含む)  
本社延べ床面積 : 7,309 m<sup>2</sup>

# 対象範囲 《認証・登録範囲》

## I. 認証・登録番号 0000716

## II. 認証・登録事業者

マロール株式会社

〒653-0037 神戸市長田区大橋町2丁目1-34

## III. 対象事業活動

船舶関係の油圧及び電気・電子油圧式制御システム・機器の設計、製造、販売及びサービス

## IV. 対象事業所

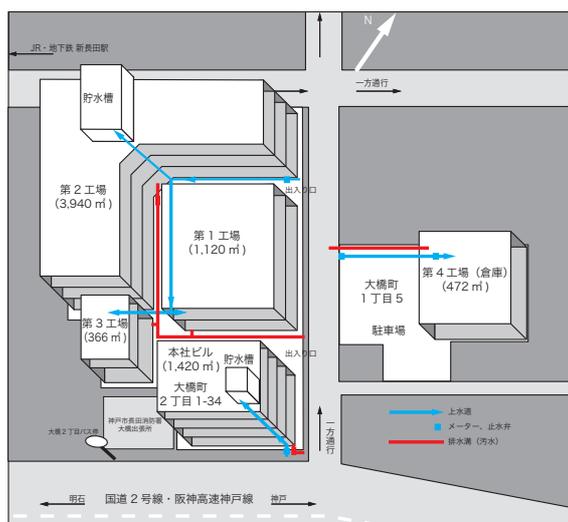
本社・工場・倉庫、東京営業所、札幌事務所、福岡営業所

## V. 対象従業員

組織内で働くパート・アルバイトを含む全ての従業員。

但し、他の組織に所属する人には適用しない。

## VI. 対象サイトの概略



本社・工場・倉庫：神戸市長田区大橋町2丁目1-34

札幌事務所：札幌市白石区北郷四条2丁目9-15 第8北海マンション502

東京営業所：東京都千代田区神田松永町7番地3 ヤマリビル402

福岡営業所：福岡市南区大池1丁目23-15 高崎ビル7号

延べ床面積 7.309㎡

延べ床面積 60.03㎡

延べ床面積 25.48㎡

延べ床面積 66.0㎡

## VII. 環境活動レポート

対象期間： 2014年5月21日～2015年5月20日

発行日： 2015年10月8日

# 環境方針

## 環境理念

当社は、環境活動を経営の最重要課題の一つと位置付け、環境への取組と環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

## 活動指針

当社は油圧・電子制御機器の設計・製造・販売の事業活動を通じて次の項目に取り組めます。

- I. 環境関連法規制、及びその他の要求事項を遵守します。
- II. エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
- III. 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組めます。
  1. 二酸化炭素排出量の削減（電力・都市ガス使用量削減及び燃費の向上）
  2. 廃棄物排出量削減（産廃・一廃排出量削減）
  3. 紙資源の節約（コピー用紙使用量削減）
  4. 総排水量削減（上水使用量削減）
  5. 化学物質使用時の管理の徹底（化学物質管理の徹底）
  6. グリーン購入の推進
  7. 環境配慮型製品の販売促進

この環境方針は全従業員に周知するとともに社会にも公開します。

2005年8月5日 制定

2014年8月18日 改定

マロール株式会社

代表取締役社長 兎田 朗彦

## 環境目標

目標項目	単位	2014 目標	2015 目標	2016 目標	2017 目標
1 二酸化炭素排出量の削減 (製品ton当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /t	2,500	2,500	2,500	2,500
1.1 電力使用量の削減	kWh	570,000	570,000	570,000	570,000
1.2 自動車燃料 (燃費)	km/l	13.08	13.08	13.08	13.08
1.2 自動車燃料 (使用量)	リットル	34,000	34,000	34,000	34,000
1.3 都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	47,000	47,000	47,000	47,000
2 廃棄物排出量の削減 (製品ton当たり)	kg/t	230	230	230	230
2.1 一般廃棄物	kg	6,500	6,500	6,500	6,500
2.2 産廃排出量	kg	40,000	40,000	40,000	40,000
3 上水使用量の削減 (製品ton当たり)	m <sup>3</sup> /t	10.00	10.00	10.00	10.00
上水使用量	m <sup>3</sup>	1,800	1,800	1,800	1,800
4 コピー用紙使用量の削減 (枚数)	枚	300,000	330,000	330,000	330,000
5 化学物質の管理	%	100	100	100	100
6 RoHS規制対応資材の購入	%	100	100	100	100
7 環境配慮製品の拡販	%	95	95	95	95

2014年でEA21活動は9年目となり、現状維持を基本としています。

各目標項目は、今後の設備や運用の変更に合わせて見直しを行います。

コピー用紙は、伝票発行システムの帳票を専用紙からコピー紙に変更したため目標値変更を行いました。

また、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量は、製品生産量1トンあたりの排出量での評価を加えています。

拠点別目標		本社	札幌	東京	福岡
電力使用量	kWh	562,400	1,300		6,300
自動車燃料 (燃費)	km/l	13.08	13.08	13.08	13.08
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	46,904	96		
上水使用量	m <sup>3</sup>	1,731	42		27

東京営業所＝電力、都市ガス、上水は賃貸(共同利用)のため集計不能。

福岡営業所＝オール電化のためガスは不使用。

# 環境活動計画

計画項目	計画内容
<b>1 二酸化炭素排出量の削減</b>	
1.1 電力使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電活動の徹底</li> <li>空調温度の調整、必要に応じたオンオフ</li> <li>不要な照明の消灯</li> <li>工場設備の不要電源を落とす</li> <li>デマンド装置の活用</li> </ul>
1.2 自動車燃料使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転記録の記入、燃費計算の実施、エコ運転の推進など</li> </ul>
1.3 都市ガス使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春/秋の空調機器使用削減、空調温度の調整など</li> </ul>
<b>2 廃棄物排出量の削減</b>	
2.1 一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底、リサイクルの促進など</li> </ul>
2.2 産廃排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の分別の徹底、リサイクルの推進など</li> </ul>
<b>3 上水使用量の削減</b>	
上水使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水活動の継続推進、空調機器の定期点検など</li> </ul>
<b>4 コピー用紙使用量の削減</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの徹底、廃紙の再利用、PDFの利用促進など</li> </ul>
<b>5 化学物質の管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDSの完備、保管・使用時のチェック、管理徹底など</li> </ul>
<b>6 RoHS規制対応資材の購入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品開発時に調達部材が対応品かチェックする、等</li> </ul>
<b>7 環境配慮製品の拡販</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減型製品(オートパイロット)への切替を進める</li> </ul>

# 環境目標の実績、環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

## I. 二酸化炭素排出量削減

目標=2,500kg-CO<sub>2</sub>/t 実績=2,789kg-CO<sub>2</sub>/t 達成率=88.4%

目標項目	単位	目標値	2012 実績	2013 実績	2014 実績	達成率
1 二酸化炭素排出量の削減 (製品ton当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /t	2,500	2,500	2,604	2,789	88.4%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	436,370	422,506	475,093	438,615	99.5%
1.1 電力使用量の削減	kWh	570,000	549,265	595,430	524,194	108.0%
1.2 自動車燃料 (燃費)	km/l	13.08	13.08	13.07	13.34	102.0%
1.2 自動車燃料 (使用量)	リットル	34,000	34,620	29,812	30,066	111.6%
1.3 都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	47,000	43,895	50,225	44,691	104.9%

電力事業者排出係数=0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力H25年度

## 製品生産量

	単位	2012	2013	2014
製品生産量	ton	169.0	182.4	157.2

## 取組結果とその評価

電力、自動車燃料、都市ガス共に今年度の使用量目標達成しました。

しかし、製品ton当たり二酸化炭素排出量は目標に届きませんでした。

(平成23年度の電力事業者排出係数を適用の場合目標達成)

### ・電力使用量

細かな節約活動の浸透や、空調稼働率が低かったこともあり、2006年のEA21活動開始以来最も低い使用量となりました。

### ・自動車燃料

使用量は若干増加しましたが、燃費は車種構成は変わらない中、13.07km/lから13.34km/lへと大きく改善し、過去最高を記録しました。これもドライバーの燃費運転意識がより高まった為と思われます。

### ・都市ガス使用量

ほぼ全て空調機器での使用です。2014年度は天候要因が良かった為少ない使用量となりました。

## 次年度取組内容

2015年度も同様の取組を継続しながら更なる活動の浸透を進めます。

## II. 廃棄物排出量の削減

目標=230kg/t 実績=210.14kg/t 達成率=108.7%

目標項目	単位	目標値	2012 実績	2013 実績	2014 実績	達成率
2 廃棄物排出量の削減 (製品ton当たり)	kg/t	230.00	255.95	229.24	210.04	108.7%
廃棄物総排出量	Kg	46,500	43,253	41,824	33,027	129.0%
2.1 一般廃棄物	kg	6,500	6,490	6,320	4,570	129.7%
2.2 産廃排出量	kg	40,000	36,763	35,504	28,457	128.9%

### 取組結果とその評価

#### ・一般廃棄物

一時期増加した段ボールが減少、その他の廃棄物も減少し目標を大きくクリアしました。

#### ・産廃廃棄物

廃油ピットの廃棄がなく排出量を削減出来ました。廃油ピット以外の排出量はほぼ一定です。

### 次年度取組内容

2015年度も同様の取組を継続します。

## III. 上水使用量の削減

目標=10.00m<sup>3</sup>/t 実績=10.52m<sup>3</sup>/t 達成率=108.1%

目標項目	単位	目標値	2012 基準	2013 実績	2014 実績	達成率
3 上水使用量の削減 (製品ton当たり)	m <sup>3</sup> /t	10.00	10.41	9.87	10.52	94.8%
上水使用量	m <sup>3</sup>	1,800	1,759	1,768	1,654	108.1%

### 取組結果とその評価

都市ガスと同様に主な使用用途は空調機器です。空調機器の使用頻度が少なかった事もあり、使用量削減出来ました。

### 次年度取組内容

継続的な取組と、空調機器のメンテナンスなど同様の取組で活動を継続します。

## IV. コピー用紙使用量の削減

目標＝300,000枚 実績＝321,000枚 達成率＝93.0% (枚数＝A4換算)

目標項目	単位	目標値	2012 基準	2013 実績	2014 実績	達成率
4 コピー用紙使用枚数	枚	300,000	282,875	289,750	321,000	93.0%

### 取組結果とその評価

業務システムの変更により専用帳票からA4用紙となったため、使用量が約25,000枚増加し、目標達成出来ませんでした。変更分以外のコピー紙使用量は前年並みです。

両面コピー率は2008年度の約10%から35%へ向上しました。これは約5万枚の削減効果に相当します。

### 次年度取組内容

2015年度は業務システムの変更による増加を考慮し目標値を330,000枚とします。

## V. 化学物質の管理100%達成

### 取組結果とその評価

・SDSの完備、・特定化学物質の使用量集計（3ヶ月毎）、・排出基準を超えた場合の届け出、・塗料・溶剤・洗剤の購入・使用・管理に関する下記5ポイント。

- I. 危険物倉庫に保管、適正量を小出しする。
- II. 当用買い、不要なストックをしない。
- III. 塗料・溶剤等の缶は必ずフタをする。
- IV. 塗料・溶剤は使い切る。
- V. 廃缶は所定の場所に保管する。

チェックリストを用いた毎日の管理、月1回の安全パトロールなどを通して、化学物質の100%管理を確認することが出来ました。

### 次年度取組内容

2015年度も同様の取組を継続します。

## VI. RoHS規制対応資材の購入100%達成

### 取組結果とその評価

RoHS規制対応を要求された製品、および規制対象の新規開発品にはRoHS規制対応資材を用いること。今年度は新規製品がありませんでした。既存製品に関しては100%適応が継続されています。

### 次年度取組内容

2015年度も同様の取組を継続します。

## VII. 環境配慮製品の拡販

目標項目	単位	目標	2012実績	2013実績	2014実績	達成率
7 環境配慮製品の拡販	%	95	90%	95%	95%	100.0%

### 取組

省エネ効果のある製品(オートパイロット)の販売において、さらに省エネ効果の高い【エコモード】を搭載したモデルの販売比率を高める。

### 結果

対象製品総販売台数 584台

エコモード搭載製品 557台

非対応製品 27台

国内向け製品はほぼ省エネ使用の製品に移行完了。非対応製品はメンテナンス対応など特殊用途に限られる。今後も特殊用途の対応は必要なので目標値を期中に100%から95%に変更した。

### 次年度の取組内容

製品の省エネ効果を高め、海外においても優位性を認めてもらい新型への切り替えを進める。

小型の新機種販売によって販売台数の拡大、達成率の向上を目指す。

# 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

## I. 適用される主な環境関連法規制等

適用される主な法規	主な適用事項	遵守評価
振動規制法	・特定施設の設置、変更の事前届け出	遵守
	・規制基準以下の遵守	遵守
騒音規制法	・特定施設の設置、変更の事前届け出	遵守
	・規制基準以下の遵守	遵守
兵庫県条例大気汚染防止に関する条例	・特定施設設置、変更、廃止等事前届け出	遵守
水質汚濁防止法	・特定施設設置、変更、廃止等事前届け出	遵守
廃棄物処理法	・一般廃棄物、産業廃棄物の運搬または処分を許可業者に委託する。	遵守
	・マニフェストの交付と回収	遵守
	・マニフェスト写しを5年間保存する。	遵守
	・産業廃棄物管理票交付状況報告を提出	遵守
PRTR法	・特定化学物質の排出量移動量の把握と記録、基準値以上の取扱量の場合行政に報告	遵守
有機溶剤中毒予防規則	・作業主任者の選任	遵守
	・局所排気装置の自主点検	遵守
	・保護具の着用、半年に1度の健康診断	遵守
消防法	・屋内貯蔵所の届け出	遵守
	・少量危険物貯蔵所の届け出	遵守
	・消防設備等点検結果報告（3年に1度）	遵守
エネルギー使用の合理化に関する法律	・熱、電気を合算した使用量が一定以上になれば届け出 指定工場・事業所となる。	遵守
自動車リサイクル法	・使用済み自動車の適正処理	遵守
フロン排出抑制法	・空調機器の3ヶ月に1度の簡易点検(H27.4施行) ・使用済み業務用エアコンの適正処理 ・地方自治体の条例の適用	遵守

## II. 法令違反、訴訟等の有無

- ・当社に於いて定期的を実施する上記遵守評価の結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。
- ・尚、関係当局からの違反の指摘は過去3年間ありません。

# 2014年度の取組

## I. クリーンデイ活動の実施

社内及び周辺道路の清掃/整理/整頓を行う「クリーンデイ」活動を2014年7月より開始しました。屋上、構内通路、社外周辺道路、倉庫、共有カ所など、普段は手が回らない場所を中心に月1回1時間程度の活動を行っています。全社員が少なくとも年1回は活動に参加します。

開始後1年が経過しましたが、以前より環境がクリーンになっており、活動自体も定着してきました。

## II. 花壇の改修

手入れが怠りがちだった本社南側国道沿いの花壇を社員の手で改修しました。

約半年をかけて少しずつ土の入替、植栽を行い、今年春にやり替えを完了しました。

引き続き、季節毎に花の植え替えなどを行い、周辺環境の改善に役立てる予定です。



## III. 業務処理システムの変更による紙の使用量削減

2014年夏より発注業務管理システムを社内製の新システムに移行しました。旧システムで使用していたカーボンコピーの専用帳票を全廃し、A4コピー用紙に変更しました。これによりA4用紙の使用量は増加しましたが、特殊紙の使用がほぼ全廃されました。

# 代表者による全体評価と見直しの結果

## I. 全体評価

EA21活動開始から9年が経過しました。当初より設備面では大きな変化はありませんが、社員全員が意識的に削減に取り組んだことで、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、上水使用量全てにおいて当初より大きく減らすことが出来ました。

2014年度は天候要件は良かった為、空調使用による電力、水道、ガスの消費を抑えることが出来ました。

廃棄物においては、一時期増加傾向にあった、購入資材の段ボール梱包も減少しました。

コピー用紙使用量は、業務システム変更に伴い増加しましたが、裏面プリントによる有効活用が浸透し、2008年度比で約5万枚の用紙削減効果となりました。

燃費は昨年の13.06km/Lから13.34km/Lへ改善しました。車種構成は特に変わっておらず、担当者の運転意識の向上が要因と考えます。

## II. 見直しの結果

EA21活動も10年目に入り、目標や活動内容がほぼ固定化され継続的な改善が主体となっています。

活動初期の大幅な削減は見られなくなりましたが、細かな改善の積み重ねが続いており、効果も継続的に現れており、当面は現在の活動継続が必要と考えます。

2015年度はさらに、省エネ型製品の開発、コピー時の裏紙利用促進、クリーンテイや花壇の整備を通しての環境改善、業務処理システムの見直しによる効率アップ、紙使用の削減などに取り組むことで、さらに地球環境に優しい企業を目指します。

**marol marine**  
*NEXT GENERATION in CONTROLS*

## **マロール株式会社**

〒653-0037  
神戸市長田区大橋町2丁目1番34号  
tel : 078-611-2158  
fax : 078-641-5856  
<http://www.marol.co.jp>